

多文化共生フォーラム

平成30年1月21日(日)に草津市役所特大会議室で多文化共生フォーラムを開催しました。3年間にわたる文化庁助成事業「生活者としての外国人のための日本語教育事業」の集大成として企画しました。

平成30年1月21日(日)に草津市役所2階の特大会議室で、KIFA多文化共生フォーラムが開催されました。

外国人17名を含めて83名の方に参加頂きました。

草津市長、KIFA南会長の挨拶の後、3年間の文化庁事業の集大成の今回のフォーラムの経緯を立命館大学の宮下先生から報告いただき、その後前草津市議会副議長の中村議員から昨年度のWorldたぶん・カフェの内容が報告されました。

第1部として下記の4名の方から事例報告がありました。



- 1.「ともに生きる地域づくり」として甲賀市国際交流協会の大河原事務局長から多文化共生への取組について
- 2.「広報のやさしい日本語版」として湖南省国際協会の鶴衛事務局長からのやさしい日本語に関する取組について
- 3.「外国からの人々と野路町の人々のハートフルなものがたり」としてベトナムのフーンさんから地元の人と協力して出来上がった「ベトナムDAY」の成功事例の発表
- 4.「介護の現場で働く外国人の語り」としてフィリピンのパイリーンさんから、介護職員として日本で働く上でのコミュニケーションの難しさについて



その後、第2部として参加者が10のテーブルに分かれてワークショップを行い、「外国人と日本人が共に暮らすために、違いを活かしたまちづくり」「外国人とのコミュニケーションの壁を除くには」をテーマに熱く語り合いました。

各グループに話合った内容を発表してもらい、問題点・課題を皆で共有できた有意義なフォーラムとなりました。

KIFA事務局長 浦 幹夫



文化庁事業の総括

草津市国際交流協会の、文化庁事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の3年間の取組について(H30. 1.21)

草津市国際交流協会

1.平成27年度取組

1)その時点での課題

- ①行政として草津市役所に外国人に対する情報提供の窓口が無い
- ②草津市内の日本語各教室の講師数が少なく、又資質に差がある
- ③草津市内の3つの日本語教室間の、人的交流を含めた連携が取れていない
- ④日本語教育の必要性は勿論、地域に外国人が住んでいる事に認識が低い

2)平成27年度取組内容

- ①草津市役所まちづくり協働課が、外国人対応窓口として位置づけられた
- ②日本語教育指導者の資質のレベルアップのための研修会の実施(2h×10回)
- ③各教室が20時間の日本語教育、共同運営等を実施して教室間の交流を深めた
- ④日本語教室と多文化共生推進への理解促進のため「多文化共生シンポジウム」を実施した

2)平成28年度取組

1)課題の見直し

- ①行政としての外国人住民の窓口は決められたが、外国人のニーズへの対応が不十分で拡充出来ていない
- ②指導者研修の内容が少し難しかったので、新規参加希望者が少なかった
- ③日本語教室も本当に日本語教育が必要な人に、その情報が届いていない
- ④シンポジウムには地元自治会関係者の出席を期待したが参加者が少なかった

2)平成28年度の取組内容

- ①外国人対応窓口の必要性を訴えるのに、運営委員会・ネットワーク会議に行政関係者と市議会議員に出席を依頼していった
- ②指導者研修を入門編とステップアップ編に分け、両方のニーズに対応した
- ③日本語教室の内容を、参加しやすいように体験型を中心に見直し、又UDCBKでは市民と外国にルーツを持つ人の交流の場として「やさしい日本語サロン」開設してもらい、同時にオリブ教室に関しては20hの教室運営全体を再委託事業として実施した
- ④28年度の文化庁事業の取組みの啓発・周知の場として、毎年KIFAが行っている「新春のつどい」に代わる「たぶんカフェ・パーティー」と合わせて、「Worldたぶんカフェ・ファイナル」としたワークショップ形式を開催し、草津市議会議員も16名参加した

だき、多文化共生を認識してもらった
事前にプレワールドカフェとして「子育て」「働く」「暮らす」をテーマとした外国人を交えたワークショップを、UDCBK主催で3回行ない、そこで出た課題を「たぶんカフェファイル」のグループテーマとした

3.平成29年度取組

1)課題の見直し

- ①行政職員に外国人に対して「やさしい日本語」による対応で、外国人への対応が出来る事を理解してもらう必要性がある
- ②指導者研修会についても、新規指導者獲得が上手く進まなかった。
- ③H28年度は新たに毎週火曜日に、UDCBKの理解と協力を得て「やさしい日本語サロン」を開設できるようになったのでその充実が必要
- ④市議会議員には、かなり事業が浸透できたが、自治会関係者への広報が思

うように進んでいない

2)平成29年度の取組

- ①指導者研修会の2回を草津市役所行政職員向けの「やさしい日本語」研修会として開催できた
- ②新規獲得者に関しても効果が出て、KIFA、オリブの日本語教室に参加するボランティア指導者が増えた
- ③支える対象としてだけでなく、外国人の能力を活かすという視点の必要性が認識され、野路町での取組みが成功し、外国人の地域貢献へと活動のモデルが出来た
- ④他の国際交流協会、団体の協力を得て、この3年間の事業が結びつき、集大成としての今回の多文化共生フォーラムが開催できた

3)特記事項

- ①多文化共生フォーラムで発表のあった野路町での外国人の地域貢献の成功事例を「野路モデル」として幅広く広報して行くことが必要である
- 以上



3年間の文化庁事業を振り返って

私は3年間、地域日本語教育コーディネーターとしてこの文化庁事業を担当させていただいたのですが、いろんな事業を通して多くの方々の励ましと温かさを感じることができ、今は達成感と感謝の気持ちでいっぱいです。

1年目より2年目、3年目と協力してくれる人たちが増えてきて多文化共生社会を推進していく必要性が認知されてきたとようやく感じられるようになってきました。

1年目の2015年 KIFA=国際交流のイメージしかなかったため「多文化共生」ということばだけが空回りしてシンポジウムの集客にたいへん苦労しました。そんな中、危機管理課との連携により日本初の外国人機能別消防団員が誕生した時の喜びは忘れることはできません。



2年目には、草津に新しくオープンしたUDCBKで「たぶんCafé」を3回行い、さらに昨年1月開催の「たぶんCafé ファイナル」では、議会事務局に初めて足を運びお話をきいてもらったおかげで、当日は半数以上の

市議会議員の参加もいただくことができました。



3年目になると市の職員対象の「やさしい日本語」の研修や姉妹都市アメリカのポンティアックからの訪問団の方々に英語ではなく「やさしい日本語」で草津を案内できました。この3年間で20か国のべ約3000人以上の参加がありました。

消防署の方々の協力で外国人向けの防災、まちづくり協議会とベトナムコミュニティの野路モデル協働事業、警察署との交通安全講習、小学校見学や大学との共催事業、草津土産作り隊などの市民団体とも連携してどんどん広がっていきました。



数え切れないくらいたくさんの事業を行い、メディアにも頻繁にとりあげていただきました。KIFAは

この文化庁事業で地域課題を洗い出し、時代のニーズに合った草津市の多文化共生推進のきっかけに貢献してきたと思っています。私自身もたくさんの学びと温かい励ましを受け取ることができました。多文化共生って外国人だけの問題ではない。



日本人同士でも出身が違うと文化や言葉もちがう。またやさしい日本語は外国人だけではなく子供や年配者にとってもうれしいものです。



多文化共生の視点を持った人がこうして増えていくことによって自然と多文化共生社会ができていくと確信しています。きっとこれから草津のまちづくりに多様な視点が加わっていくことでしょう。このようなKIFAの大きな事業にずっと関わらせていただきありがとうございます。

この文化庁事業で地域課題を洗い出し、時代のニーズに合った草津市の多文化共生推進のきっかけに貢献してきたと思っています。私自身もたくさんの学びと温かい励ましを受け取ることができました。多文化共生って外国人だけの問題ではない。

KIFA 副会長(日本語教育コーディネーター)
中西 まり子



インターナショナルライブin酒蔵ケニア編

平成30年2月16日(金)に太田酒造さんのホールにて、国際理解イベント「インターナショナルライブin酒蔵ケニア編」を開催しました。今年はケニア音楽バンド「オレダブエコ」が出演しました。

4回目を迎えた道灌蔵での酒蔵コンサート、今年は「ケニア編」ということで、大阪で活躍されているアフリカケニアの音楽バンド『オレダブエコ』のGeorge Ninaさんと高津里加子さんが出演されました。Georgeさんと里加子さんはご夫婦で、お二人はピースポートで知り合ったとか…太田酒造の美味しい日本酒やワイン、そしてオモヤキッチンさんの体にやさしい軽食をいただきながら、ほろ酔い気分でお二人の馴れ初めなどお聞きしながら、力強く陽気なアフリカン・ミュージックを楽しみました。



お二人の演奏される楽器は大変珍しいもので、里加子さんがたたかれていたジェンベという太鼓のミニチュアが何故か我が家にあるのですが、本物の音を聞いたのは初めて！Georgeさんが演奏されていたドウンドゥンというドラムセットのようなアフリカの太鼓も初めてで、太鼓のバチが木の枝だったのにも驚きました。Georgeさんの足元にはタンバリンの周りについているミニシンバルのようなものが沢山ついた楽器が巻かれており、ドウンドゥンをたたきながら足元のシンバルをも器用に操られて、お二人の演奏は正に大地の響きで、そこにGeorgeさんの歌声が重なった時、私の頭の中にはライオンキングの世界が広がっていました！

アフリカの歌というものの自体、今回初めて聴いたのですが、どれも力強く、それでいて優しい感じが魂に響く、心に振動を与えるものでした。“アレヤ”という歌詞が何度も聞こえてきた曲はアフリカンなゴスペルだったのではないかと思います。神様に捧げる歌も、アフリカンになると随分イメージが変わって、心に染み渡るといより、心の底に響く力強さを感じました。夫婦がお互いを責任を持って大切に作る歌や、みんなを歓迎する歌もとても素敵でした。途中、里加子さんの独特なアフリカダンスも披露され、会場の人たちも一緒になって踊り楽しむ場面もあり、国や文化の違いを超えて会場が一体になる光景もインターナショナルライブならではの、それを楽しみに毎回参加しています。

オレダブエコの皆さん、アフリカのサバンナを感じるような力強く地に足のついた、それでいて楽しくあたたかいひと時をありがとうございました。

多文化共生部会 部長 鶴田 真理子



文化庁の財成を受けて、多文化共生部会主催でハラル料理を作るイベントを市民交流プラザにて開催しました。食をテーマにイスラム文化を学ぶイベントでした。

1月14日(日)10:00より、草津市民交流プラザにて「ハラル料理Cooking」イベントを開催しました。講師には、バングラデシュ出身の留学生アリフル・ラーマンさんと奥さんのサンギダ・ヤスミンさん、立命館大学の黒川清登教授をお迎えしてハラルの文化や東南アジアにおけるハラルビジネスについてのなどの講義のほか、ハラル料理4品を教えていただきました。通訳には、ラーマンさんと同じく、黒川教授の研究室の学生である服部孝政さんをお願いしました。黒川教授の研究室からは、ラーマンさんと服部君をはじめ、6名の学生の参加があり学生と地域の方が交流するとても良い機会となりました。

ハラルというのは、イスラム教において許されているものことで、逆はハラムというのだそうです。ハラルの肉とは、どのようなものなのかについての説明や、なぜ、豚肉やアルコールはなぜハラムなのかという話はとても興味深いものでした。たとえば、豚肉はハラムで、食べてはいけませんが、豚は神聖な神様の動物なのだそうです。それは、豚は土でもほこりでも何でも食べて地球をきれいにしてくれる動物であるとの考えからです。それに加え、豚は何でも食べるというその特性から、豚肉にはいろいろな細菌が含まれていると考えられ、その二つの理由から豚肉を食べることが許されていないのだそうです。

今回教わったハラル料理は、チキンカレー・ミックスベジタブル・フライドシュリンプ・カスタードフルーツの4品です。どれもとてもおいしかったです。ヤスミンさんは、日本人でも食べやすいようにとチリの量を半分以下に減らして下さっているとのことでした。バングラデシュでは、子どもも同じように辛い物を食べるのだそうです。

また、料理を作る際に使用したお肉やスパイスはハラル認証というマークがついたものを使用しました。ハラル料理を作るためには、このように、ハラル認証のついた材料で作るそうです。調理器具や、食器もすべて豚肉を使用したことのないものを使うのが正式です。でも、そのような調理器具が準備できないときには、新しいスポンジできれいに洗ってから使用すれば、ハラルとして認められるのだそうです。もし、イスラム教徒(ムスリム)の方をご家庭に招待する機会があれば、このようなことを参考にしていただけるとよいと思います。

ご協力くださったみなさま、ありがとうございました。

KIFA事務局
緒方 加代子





多文化交流会

平成30年2月10日(土) 草津市立まちづくりセンター

昨年度のKIFA活動に協力して下さった団体・個人の方をお招きし、
交流の輪をさらに大きく広げるための交流会を開催しました。

多文化交流会は、様々な視野や考えを持った人同士
がつながり、今後の活動の幅をさらに広げていくための
きっかけになったと思います。

国際交流、多文化共生、エコ、SDGs等、様々な人や団
体の活動発表が行われ、どんな人が、どんな想いで活動
を行なっているのかを知ることができ、大変興味深かつ
たです。またお昼には、ベトナム、中国、バングラデシュ、
フィリピン、ウズベキスタン、ハンガリー等世界各国の料
理や、滋賀県の郷土料理である「ふな寿司」等が並びまし

た。美味しい料理とともに、情報交換や交流を深める時
間になりました。

私は司会進行役を務めさせていただきましたが、会場
は終始温かい雰囲気、リラックスして楽しむことができ
ました。年齢や国籍を問わず、準備から後片付けまで、み
んが協力し助け合う。子どもたちは泣いたり笑ったり走
り回ったり…それをみんなで温かく見守る。こんな優しい
環境を、地域へもっと広げていきたいと思ひます。

KIFA日本語ひろばスタッフ 加藤 志乃



今年度、国際理解部会の藤田アニコー部会長を中心に、KIFAで3回出前講座を行いました。今回、たまたまハンガリーを紹介することが多く、色々な形で国の紹介ができました。

社会学習の授業として

11月13日に渋川小学校にてハンガリーについて講演会を行いました。道徳の授業の一環として、「皆違って、皆いい」という趣旨のもと、日本とハンガリーの違いと似ているところを紹介しました。

子どもたちはとても積極的で、よく聞いてくれましたし、たくさんコメントもしてくれました。

この授業の後、子どもたちは国々の違いについて考えていったそうです。



PTAの活動として

11月14日に常盤小学校のPTA主催イベントにてハンガリーを紹介しました。こちらのイベントの目的は親子で遊ぶことでしたので、国の話は短くして、ゲームやアクティビティに時間を使いました。国を紹介した後、二つのゲームを行いました。



一つ目は静かに考えるマッチゲーム、二つ目は身体を動かすロンドン橋ゲームをしました。ロンドン橋ゲームでは、子どもたちとお母さん・お父さん全員が思い切り走って、ゲームに夢中になりました。

最後にハンガリーの踊りを体験してもらいました。一人の児童が私のペアになってくれて、踊りを一緒に紹介しました。その後、皆で練習し、ハンガリーの音楽をかけて、いよいよ本番！皆さんは初めてだったのに、よく踊ってくれて、とっても盛り上がりました。

こちらのイベントではハンガリーの民族衣装を着て、文化と目や

耳、身体を通して触れ合うことができたと思います。

聾話学校の人権学習として

12月8日に栗東の聾話学校にてハンガリーを紹介しました。

こちらの目的は国について学んだ後、国のお菓子を一緒に作って、食文化を味わうことでした。ですから、こちらも話を短くして、メインはお菓子作りに集中しました。

皆さんは手話でコミュニケーションをしているので、私の話を先生たちが手話で訳してくれました。初体験でしたので、ゆっくりしゃべることに心掛けて、子どもたちとこのように触れ合わせることはとても新鮮で楽しかったです。子どもたちはよく話を聞いてくれて、質問もたくさんしてくれました。

ハンガリーの手話も調べてきたので、手話の違いについても盛り上がり、笑いが多い学習になりました。

話の後、一緒にハンガリーのチョコボールを作りました。皆さんは簡単にできる美味しいお菓みに驚いてくれました。食べながら質問をしてくれたり、感想を言ってくれたりして、最後に一緒に集合写真を撮りました。

後日、子どもたちから温かい感想文が届き、学習でびっくりしたことや楽しかったことを伝えてくれたり、学校の行事に誘ってくれたり、日本の観光地をおすすめしてくれたりして、授業だけではなく、感想文も素敵な思い出になりました。

国際理解部会 部会長 藤田アニコー



いろんな国で活躍する日本人～ケニア編

JICA 帰国隊員活動報告会

1月19日(金)に草津市立まちづくりセンターにて、JICA帰国隊員報告会のケニア編を開催しました。

1月19日(金)に草津市立まちづくりセンターにて、国際理解講座『いろんな国で活躍する日本人～ケニア編』を行いました。JICAボランティア帰国隊員の山本康夫さんが、クイズを交えながらケニアとはどんなところなのか、ケニアでどんなことをしたのかなどについてお話くださいました。

ケニアの首都ナイロビにはビルが立ち並んでいます。赤道直下に位置しますが、標高1600メートルで夏は草津の方が暑いのだそうです。そしてアフリカで2番目に高い山であるケニア山は、標高が5000メートルくらいありますが、標高4800メートル辺りまでは車で登れるのだそうです。

また、ほとんどの子供たちは小学校に入学しますが家庭の事情により学校を辞めてしまう子がたくさんいるのだといいます。

また、ケニアといえばマラソンが速いというイメージでマラソンが人気のスポーツなのかと思われがちですが、サッカーやハンドボール・バスケットボールなどの球技が人気で走るのが嫌いという人が多いらしいです。

カンガというふるしきのような布は、まとい方でいろいろな洋服になるだけでなくテーブルクロス、タペストリー、カバンなどいろいろなものに使います。その柄は自然にあるものをモチーフにしているのだそうです。

山本先生が作ってくださったサモサとケニア産の紅茶をいただきながら、ケニアが少し身近になった夜でした。

KIFA事務局 緒方 加代子

青年海外協力隊でケニアに赴任して児童更生保護施設で活動された山本康夫氏の話で、参加者みんなでケニアの文化について一緒に考え、理解を深めた。意外だったのが、ケニアも雪が降る、マラソンよりもサッカーやバレーボール・バスケットボールなどの球技が人気がある、コーヒーよりも紅茶が大好きなど。活動先の施設では1クラス60人！日本では考えられない大所帯で教えるのに苦労したらしい。手作りのサモサもおいしかった。

KIFA会員 中村ケンジ



日本語ひろば (きずな)

今年度は前期11回、後期20回の日本語教室「日本語ひろば」を実施しました。



2010年からスタートしたこの日本語ひろば「きずな」は立命館大学の協力を得てもう8年目に入りました。

少しずつ認知され、留学生を中心に近隣の外国人たちも参加してくれています。文化庁事業の日本語指導者研修に力を入れたおかげで指導者も20名にまで増えて充実してきました。

KIFA 副会長 中西まり子

日本語ひろばのスタッフとして活動を始めて2年目になりました。様々な国や地域から来日された留学生、研修生や、その家族の方々が、限られた期間の中で、専門分野や日本語の勉強に熱心に取り組んでいる姿に接して、とてもすがすがしい気持ちになります。ひろばは、日本語学習を通じて、異文化交流が出来る場でもあり、この1年も、毎回、日本語や、日本と外国の文化の違いなどについて発見があり、ワクワクと活動することが出来ました。

KIFA日本語ひろばスタッフ 檜川久美子



日本語ひろばでは、一人一人のレベルに合わせてグループを分けて、暮らしのマナーやあらゆるジャンルの豆知識も授業にとりこんでますので楽しく勉強ができてなにより、お友達もつくれるので、とてもなくてはならない場所です。

日本語ひろば生徒 台湾出身 タク・ケイギ



やさしいにほんごサロン

毎週火曜日にはUDCBK主催の「やさしいにほんごサロン」をKIFAスタッフが協力して開催しています。

南草津駅前のUDCBKで市民と外国にルーツを持つ人との交流の場を毎週火曜日AMに持っています。

主催はUDCBKですが、KIFA全面協力ということで、日本語の指導できるスタッフを毎回2名以上配置して、学び、地域情報提供、日本人とつながる居場所を提供しています。

KIFA 副会長 中西まり子

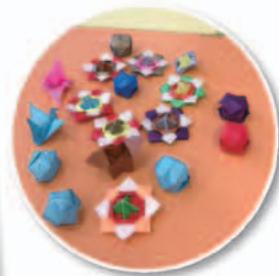
日本語サロンではお勉強したいでしたら、ちゃんと 教えてもらえますし、暮らしの中でちょっとした悩みでどこに相談すれば良いか、誰に聞いたらわかるか、などのこともこちらで おしゃべりの間にほぼ答えが見つかります。お友達もたくさんできます。駅前という立地で 気軽に立ち寄って頂けます。

日本語サロン生徒 台湾出身 タク・ケイギ

KIFAの日本語サロンに参加して2年目になります。

南草津駅前の便利でオシャレな空間で、さまざまな国の子供たちの遊び場であったり、また、ある時は外国の男性と日本人女性が将棋対戦をしている日もありました。地域に暮らす外国人と日本人が交流し、日本語の勉強はもちろんのこと、日本の生活でわからない事、不安な事を出し合ってアドバイスをしたりしました。また、交流する中で、私たち日本人が外国人の人達から学ぶ情報もあり、まさに、国際交流の場である事を実感しています。これからも、外国人の人達が暮らしやすい情報を発信するお手伝いが出来ればと思っています。

KIFA会員 日本語サロンスタッフ 津田幸子



草津市国際交流協会 法人会員 一覧

平成30年4月1日現在

社会福祉法人良友会あゆみ保育園	525-0023	草津市平井2丁目13-3	077-563-8989
アルバ通信株式会社	525-0035	草津市西草津2-3-17	077-566-6185
伊藤内科クリニック	525-0037	草津市西大路町4-32	077-563-3550
梅山税理士法人・梅山公認会計士事務所	525-0059	草津市野路1丁目8-18	077-569-1714
エールコーポレーション株式会社	525-0016	草津市北大萱町556番地-2	077-568-3190
株式会社井上工業	525-0002	草津市芦浦町313-1	077-568-2288
株式会社MNK	525-0059	草津市野路6-11-6	077-562-7868
株式会社関西アーバン銀行	525-0032	草津市大路2丁目9番1号	077-562-2158
近畿環境保全株式会社	525-0041	草津市青地町字六反田196	077-564-1502
株式会社近商物産	525-0037	草津市西大路町11-18	077-563-3161
株式会社光希工建	525-0022	草津市川原町142-3	077-564-4244
株式会社広宣	525-0059	草津市野路6丁目5-1	077-563-1315
クサツエストピアホテル	525-0033	草津市西大路町4-32	077-566-3333
草津商工会議所	525-0032	草津市大路2丁目11-51	077-564-5201
草津電機株式会社	525-8501	草津市東草津2丁目3番38号	077-563-5111
草津ライオンズクラブ	525-0032	草津市大路2丁目11-51	077-561-4144
草津ロータリークラブ	525-0037	草津市西大路4-2 クサツエストピアホテル内	077-564-9111
有限会社三王都市開発	525-0034	草津市草津3丁目14-45	077-566-3017
株式会社滋賀銀行	525-0032	草津市大路1-4-26	077-562-3601
株式会社滋賀総合開発	525-0066	草津市矢橋町394	077-564-3456
株式会社滋賀レイクスターズ	525-0801	大津市におの浜4-7-5 オプテックスビル3F	077-527-6419
有限会社シブヤオートモビル	525-0016	草津市北大萱町551-2	077-568-3298
株式会社 新和	525-0066	草津市矢橋町2098	077-562-8260
税理士法人滋賀総合会計	525-0034	草津市草津3-13-63	077-564-2128
株式会社スマイ印刷	520-3014	栗東市川辺568-2	077-552-1045
株式会社瀬川元・瓢仙堂	525-0053	草津市矢倉2丁目2-1	077-562-2435
ダイキン工業株式会社	525-0044	草津市岡本1000-2	077-563-1151
大五産業株式会社	525-0031	草津市若竹町9-24	077-562-9161
太陽住宅株式会社	525-0059	草津市野路4丁目5-6	077-565-2163
田中商事株式会社	525-0033	草津市東草津1-4-48	077-563-2362
株式会社タムラモータース	525-0016	草津市北大萱547-1	077-568-3029
株式会社トップ	525-0016	草津市北大萱町549-7	077-568-4433
株式会社中島電業所	525-0022	草津市川原町132-4	077-562-0837
日本観光開発株式会社	525-0032	草津市大路3丁目5-64	077-562-1049
株式会社日本旅行草津支店	525-0032	草津市大路1丁目10-1	077-562-6001
株式会社早瀬水道	525-0052	草津市草津町2012番地	077-574-8831
株式会社ヒキタ事務機	525-0028	草津市上笠3丁目17-9	077-563-8311
株式会社ビィサイドプランニング	525-0006	草津市志那中町102-1	077-568-5020
株式会社富士印刷	525-0072	草津市笠山5丁目3-7	077-564-5058
ホテルポストプラザ草津	525-0037	草津市西大路町1-27	077-561-3311
株式会社マインズ	525-0003	草津市長束町261-1	077-568-5050
株式会社マスイ木材	525-0063	草津市南山田町27-3	077-565-0318
守建設株式会社	525-0054	草津市東矢倉3丁目41-18	077-562-3244
株式会社Mi-Oスポーツ	525-0031	草津市若竹8-38	077-564-6646
村地総合木材株式会社	520-2524	蒲生郡竜王町綾戸328-3	0748-57-0615
株式会社ヤマキ	525-0041	草津市青地町200-10	077-564-0123
立命館大学びわこ・くさつキャンパス	525-8577	草津市野路東1丁目1-1	077-561-3946

募集

「第22回滋賀県ミシガン友好親善使節団の派遣・団員の募集」



滋賀県ならびに滋賀県国際交流協会は第22回滋賀県ミシガン州友好親善使節団の派遣を9月に予定しております。今回は姉妹都市提携50周年を迎える事から、派遣中さまざまなイベントが計画されています。下記の通り団員の募集を行います。

- 目的：滋賀県の姉妹州であるアメリカ合衆国ミシガン州へ県民からなる友好使節団を派遣し、ミシガン州民の家庭でのホームステイや姉妹都市交流等を通じて、アメリカの社会や文化を理解するとともに国際理解・友好親善を深めます。
- 企画：滋賀県、公益財団法人滋賀県国際協会
- 派遣期間：平成30年9月5日(水)～9月14日(金)の10日間(うちホームステイは3泊4日。なお、ホームステイに職員は同行しません)
- 定員：40名※定員を超えた場合は、抽選により派遣を検討します。
- 使節団員の応募資格：滋賀県に在住し、平成30年4月1日現在、満18歳(高校生を除く)以上であり、健康でかつ団体行動に協調でき、ホームステイや宿泊などが一人で可能な方。

- 参加経費：未定(250,000円～300,000円程度：決定次第連絡します)
- 応募期間：平成30年4月16日(月)～5月15日(火)
- 申し込みについて：募集案内・参加申込書は草津市国際交流協会事務局にあります。各市町村で取りまとめて県に応募することになっていますので、草津市民の方は草津市国際交流協会にてお申込み下さい。
- その他：ホームステイ期間以外はミシガン州各地を周遊する予定です。その際、長時間のバス移動(一日あたり3～5時間程度)があります。



募集

平成30年度総会・講演会

平成30年度の総会を下記のとおり開催いたします。また、総会後には立命館大学経済学部黒川教授による「サイエンスとしてのハラールフードビジネス」と題する講演会を予定しています。国際理解を進める上で重要なイスラム文化を知る良い機会です。

- 日時：平成30年4月21日(土)
10:00～11:15 KIFA総会(受付9:45～)
11:30～12:45 講演会「サイエンスとしてのハラールフードビジネス」
- 講師：立命館大学経済学部 黒川清登教授
- 場所：草津市役所8階大会議室
- 参加費：無料
- お問合せ・申し込み：草津市国際交流協会 窓口・電話・メールにて



募集

前期英語サロン

イギリス人講師デイビッドさんによる前期英語サロン(初級・中級)の参加者を募集します。全10回のコースで毎回違ったテーマで英語を楽しむサロンはアットホームな雰囲気です。学べると好評です。
なお、本年度より幼児のベビーシッターは中止しますのでご注意ください。

- 日時：平成30年5月7日～7月9日の毎週月曜日(祝日をのぞく)
(初級)9:30～10:30、(中級)10:35～11:50
- 定員：各級12名(先着順)
- 場所：草津市立まちづくりセンター
- 参加費(10回分)：
(初級)KIFA会員6,500円、一般9,500円
(中級)KIFA会員9,000円、一般12,000円
- 申し込み受付開始：4月9日(月)
- お問合せ・申し込み：草津市国際交流協会 窓口・電話・メールにて
※後期英語サロンは、10月1日～12月10日の期間で予定しています



案内

姉妹都市提携40周年記念友好親善使節団員募集

草津市では、ミシガン州ポンティアック市との姉妹都市提携40周年を記念して、市民のみならずから団員を募集して11月上旬に使節団を派遣する予定です。募集に関する詳細は未定ですが、5月ごろに募集を開始する予定です。募集案内は「広報くさつ」のほか草津市国際交流協会のホームページ・フェイスブックでも掲載予定です。

募集

ALT先生と行くインターナショナルハイキング

ALT先生(近隣の学校で働くネイティブの英語アシスタント講師)と一緒にハイキングの参加者を募集します。英語で会話をしたり、ネイチャーゲームをしたりします。お弁当・飲み物は持参してください。

- 日時：平成30年4月22日(日)
10:00～15:00ごろ

- 行先：田上山
- 集合：石山駅(石山駅から公共バス)
- 定員：20名
- 料金：無料(交通費は自己負担)
- お問合せ・申し込み：草津市国際交流協会 窓口・電話・メールにて

